

たまりば

2018 年度 春号

Communication
通信



◆ 発行日 **2018 年 4 月** ◆ 発行 **特定非営利活動法人フリースペースたまりば**

〒213-0022 川崎市高津区千年435-10

TEL 044-833-7562

FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org

2017・祭りだ！ワッショイ!!

フェスティバルはやっぱり面白い

昼下りの時間帯、ちゃぶ台を囲むように奇妙な集団がえんに現れ、「チケット代どうするー?」「テーマは何にしようかー?」「オープニングとかやったら面白くない?」などの意見が飛び交います。

これは、フェスティバルを陰から支えるプロジェクトXという実行委員会の会議の様子です。9月から毎週のように会議を重ね、準備を進めてきました。例年通り、チラシを印刷し、チケットを一枚ずつ手作りし、会場・出演者との打ち合わせ・調整などをしてきました。

さらに今年は「祭りだ！ワッショイ!!」というテーマを掲げ、オープニングに神輿を登場させたり、お揃いのお祭りTシャツをつくったりと、かなり本気モード。なかでも、「ください」と呼びかけて、皆さんから



たくさん集めたうちわを、お湯につけてふやかし⇒貼ってある紙を一枚一枚丁寧に剥がし⇒のりで一つひとつ新たに紙を貼ってつくったオリジナルフェスティバルうちわの数は、なんと合計 350 本！当日は来場者に無料で配られ、会場全体がお祭りの雰囲気になりました。

プログラムの方に目を向けると、今年は去年より 4 演目も増え、なんと全部で 20 演目。お馴染みの人もはじめての人もいたけれど、みんな堂々とした圧巻のパフォーマンス！そして、それを優しい目で見守るたまりばの仲間たち。うん、やっぱりフェスティバルっていいものだ！

出演する人、しない人、裏方で力を発揮してくれる人や、熱い照明室にこもり演者をかっこよく照らしてくれる人、音響まわりでテキパキと動く人、細かい所に気がつき走り回ってくれる人。ロビーを盛り上げてくれる保護者の方たち。そして、会場から温かい応援をしてくれるお客さんたち。色々な人の力があってこそ成り立つフェスティバル。

あー、やっぱりフェスティバルって面白い！来年はどんなドラマが見られるかな？

今からワクワクしています！

最後になりましたが、応援してくれた方、ご来場いただきました方、本当にありがとうございました！ぜひ、来年もお待ちしております！！祭りだ、ワッショイ!!! ♪ (マサ)

NPO法人
フリースペース
たまりば
って…?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

大所帯で玉原スキー合宿♪



1月21日(日)～23日(火)、40人を超える大所帯で玉原スキー合宿に行ってきました。車イスのメンバーも一緒だったり、1月の玉原スキー場は初めてだった

りで、満員状態の大型バスの中はドキドキ・ワクワクがたっぷり詰まっただけの出発となりました。

初日は宿に着いて、レンタルスキー・スノボなどの準備。二日目の朝から、本格始動。みんなでスキー場へ移動して、ガンガン滑りまくる子、慎重に自分の滑りを極める子、初めての子、滑らずに雪遊びをする子などなど…。

晴天の中、コースの下の方ではスキー・スノボが得意なOB達が初心者コーチ役を買ってでて、最初の転び方からちょっとしたコツまで、ていねいに教えてくれました。そんな中、ちょっと滑れるメンバーが、コースの上の方へ行くと、「思ったよりサムイ、吹雪いている」などいろいろな声が聞こえてきます。一緒に行ってみると確かに、リフトに乗っている間が、サムイ。でも、滑り出せば寒さより楽しさが上回っていきます。競争してみたり、景色を眺めてみたり、一緒に滑る人を探してみたり…。

宿でも過ごし方は、思い思い。みんなでゲームをしたり、板のメンテナンスをしたり、お風呂で体を休めたり。そんな時間を過ごしていると、美味しそうな匂いが宿中に漂ってきます。食べきれないほどの夕飯を用意してくれて、うれしくて、ホッとするひとときです。

そして帰り道では、なんと大雪で高速道路が途中から通行止め。到着予定時刻から、大幅に遅れる事態に。今年も最初から最後まで、いろいろある「たまりばらしい」楽しいスキー合宿でした。また来年が楽しみです。(ダイスケ)



ピンクの夢パーク

「みてこれ～！」
「ピンクのつけてきた!!」



2月28日(水)、子どもたちは思い思いの“ピンク”を身につけ、自慢するようにニコニコしながらえんにやってきました。この日は世界的に取り組みが行われている「ピンクシャツデー」。これはカナダの高校生が始めた取り組みです。ピンクのポロシャツを着た下級生が「男のくせに、気持ち悪い」とからかわれて暴行を受けました。それを聞いた上級生の二人が「いじめはもううんざり」と、賛同した他の多くの学生たちとピンクのシャツ等を身につけ、いじめ反対の意思表示をしたのがきっかけとなりました。えんや夢パークに通ってきている人もこの趣旨に賛同し、当日は多くの人がピンク色のシャツやスカーフ、上着、リストバンド等々を身につけて夢パークをピンク色に染めました。(しもん)

みんな、春だ春だよ！

えんには、卒業式や入学式はありませんが、えんならではの「巣立ちの会」があります。4月から新しい生活をスタートする人、何かに挑戦する人、一年間のお疲れさまで、色んな人の一区切りとして、毎年開催されている「春だ!春だ!パーティ」です。今年度は3月17日(金)に行いました。

あいにくのお天気で、いつもの東高根森林公園ではなくえんでの開催に。外は雨でも、えんの中は晴れ晴れとした笑顔がいっぱい。朝早くから、ワイワイと準備して、お昼過ぎには、パーティスタート!折り紙やイラスト入りの装飾とポスターが、えんの中をカラフルに彩る中、みんなで作ったもの、差し入れてもらったもの…美味しいお料理がズラリとテーブルに並びました。みんなで「美味しいね!」と食べながら、おしゃべりしたり、歌ったり、ギターを弾いたり。最後には仲間や自分に拍手を送り合い、あったか〜い気持ちになれる「巣立ちの会」でした。(みぼ)



指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所で
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケだより



～いざ、VR（バーチャルリアリティ）体験～

昨年11月に、スマートフォンアプリゲームの製作を手掛け、CMでもお馴染みの「株式会社コロプラ」に職場見学へ行ってきました。会社は大都会の「恵比寿ガーデンプレイスタワー」にあるということもあり、「どんな会社だろう？」と朝から緊張していた若者たちは、入口を一步入ってビックリ！そこには壁一面に広がるスクリーン（TV30台分?）が、会社のキャラクター映像を流し、まるで水族館に来たかのように。会議室で会社が「どんなことをやっているのか？」の説明を聴き、現在、一番力を入れて開発中のVR技術を駆使したアクションゲーム「TITAN SLAYER」の体験もさせてもらいました。大きな眼鏡のような機器を装着するとゲームの中に身体ごと入り込み、360度から攻めてくる敵との戦いが始まります。若者たちが、両手のスティック（剣と盾）を振りかざし、ジャンプしたり、汗だくになりながら体験をしている姿は、傍から見るとちょっと不思議でしたが、みんなとても満足したようです。スマホ時代に発展し続ける会社には、若者たちも興味津々でした。（さとう）



HAPPYえんぱりだい

★えんには常に新メンバーが来るけど、かしこまって自己紹介なんて緊張するからと思いついた“めくってこたえてゲーム”。聞きたいことをそれぞれが書き、出たお題にこたえるというもの。もう初めてとか仲良しとか関係ないくらいに盛り上がりちょっとした流行に。なんてったって「5分間ハイテンションになる」というお題をためらいもなくやっている姿が最高！やっぱりえんの人たちはおもしろいなー。（あかり）

★えんのみんなで作った手前味噌を「えん味噌」と呼んでいます。お茶会ミーティングで「今年もえん味噌を作ろう」とシェフ太郎からの提案があり、2月初めにえん味噌づくりをしました。今年は新しくなった台所で大豆を煮て、みんなでワイワイ大豆をつぶし、麴と塩をまぜ、美味しいお味噌になあれ！と、カメに投げ入れました。（たかこ）

★最近よく創作エリアの砂ぼこりの中に奇妙な“わだち”が出現します。クネクネしていたり、まっすぐキレイなものだったり。これは、今流行りのプレイボード鬼ごっこでできたものみたい。その時々メンバーにあった色んなルールで遊んでいて、たまにほうきをもって掃除もしちゃうんだって！それにしても、最近の鬼ごっこってすごいね。（マサ）

西んのつぶやき



3月。今年も厚労省から自死に関するデータが公表された。昨年1年間に小・中・高校生で自ら命を絶った子どもの数は357人。前年に比べて約12%増えた。子どもの数がどんどん減っているのに、自死が増えている。毎日1人日本のどこかで亡くなっている計算になる。「原因・動機別」のところを調べると、圧倒的多数は「学校問題」であることがわかる。いのちを豊かに育むはずの学校が問題となって死を選ぶ社会って、どうなっているんだろう。

最近テレビのニュースや新聞で川口のいじめ問題が報道された。中1の春からサッカー部でたたかれたり、無視されたりといったいじめが始まり、中2で学校に行けなくなり、自傷行為も始まった。親は学校や教育委員会に訴えを出し、いったんは校長もいじめを認めていたものの、途中から態度を一変。「子どもたちに悪気はない」と発言したり、部活の顧問は「死ねというのはあいさつみたいなの」と保護者説明会であきれた発言。テレビの報道番組で少年の母は「死なないとみんなが一生懸命やってくれないのかなあ」という息子のつぶやきを伝えていた。

この重大事態に第3者委員会が立ち上がり、3月に調査報告書がまとまった。いじめと認定し、不登校の主な要因と指摘を受けた市の教育委員会は、ようやく認識の甘さを謝罪したが、対応の遅れの理由を問われるとこんな風に答えている。「まず学校復帰に力点を置いている。学校に来て改善を図ると同時に、いじめも解消していくというのが、基本的にいじめが起きたときの初動の態勢である」。いじめが収まっていない学校とにかく来させることに力を注いでいるのだ。テレビで少年の手紙が紹介された。「ぼくみたいになんか言えなかったりする人は、すごいやだったし、くやしくても言えなくて…僕を助けてくれますか」

学校の裏切りはいじめ以上に多かったと少年は語る。

桜が咲いて新学期を迎える季節。同じ思いで悩み、苦しみながらも声をあげられない子どもたちが、私たちの身のまわりに、そして日本中のいたるところに、きついているだろう。どうか、いのちをかけておとなたちにわからせようなどと考えないでください。あなたを追いつめた人たちはちゃんと退職金ももらって生きていきますから。あなたのいのちをむだにしないでください。学び・育つ場は、目の前の学校だけではありません。（西野博之）



川崎若者就労自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

染めのおっちゃんと野染めをしよう！

4月11日(水) 10:30ごろ～

(※3月から日程が変更になりました)

★京都の染色家、斎藤洋さんと一緒に18mの布をみんなで思い思いに染めよう！染料は夢パーク内に生えているローズマリーやミント、ピワの葉、ヤマモモの木などを煮だして作る自然な染料です。

夢パーク まいにちがプレーパーク

5月2日(水)～5月6日(日)

★ゴールデンウィークはプレーパークでたき火や昔遊びなどを楽しもう。またミニイベントもあるよ！着替えを持ってきて、思いっきり遊ぼう!!

フリースペースえん 活動報告会

6月23日(土) 15:00～

2017年度の活動報告をフリースペースえんで行ないます。
昨年はどんな一年間だったかな？一緒に振り返ろう。

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第1回 4月21日(土) 10:00～12:00

第2回 6月16日(土) 10:00～12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>
申込み 第1回 3月1日、第2回 5月1日、ともに10:30から受付開始

※2回目以降についてはホームページでご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます

(2017.12.19～2018.3.12)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。

(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。)

なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。

江藤省三、小森新一郎・美登里、長谷川信儀・靖子、中村公一、宮崎芳正、興水典久、山本将也、柏倉敏和、田老伸匡、新田学、赤野彩希、佐藤研二・真理、山崎祐子、イノウエタカシ、吉田弘子、後藤みしお、清水善幸、上田春美、山口正芳、木村陶子、村岡美和子、梅田美穂、赤井英明・美智代、安藤明日香、石戸博也、小野美奈、竹内昭・太郎、佐々木とも、田辺正透、塚本志子、鈴木良一・明子、藤井景子、石橋充行・大吉、岡本宏次、藤川美帆・昂大、東靖士、今北正史、遠山則子、佐藤秀治・創楽、友兼清治、清水利孝、山田恵理子、中村裕子、有賀直美、石川富士子、大仲千華、児島順子、山下時生、塩倉直子、宇井新・のどか、鈴木健一、武井哲郎、瀧沢美基子、小山正見、澤畑勉、大垣真理子、常川恵子、平林浩、大沢昭和、佐藤忠、松山朋子、町田恵美、田邊恵佑、鈴木綾子、山下美智代・細田和恵、国際ソロプチミスト川崎-百合、CAPかわさき、フェスティバルカフェたろう、フェスティバルお茶部、写真部

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です！

月払い会員、年払い会員、個人会員、団体会員など各コースあります

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562 (光富)